



京都大学呼吸器外科は、12名の臨床スタッフが一丸となり、日々診療に励んでおります。これまで多様な病院で豊富な経験を積んできたスタッフが1つのチームとなり、外科治療が必要なすべての呼吸器疾患に対応いたします。2026年2月には、国内で最多のロボット呼吸器外科手術数を誇る名古屋大学呼吸器外科から芳川豊史教授が就任し、新たに診療科長を拝命いたしました。「自分や自分の家族が患者になったときに受けたい医療の実践」を目指し、「誠意をもって診療を行う」をモットーに、チーム一同、日々研鑽を積んでおります。先生方とのスムーズな連携にあたり、私たちは2つのお約束をいたします。

① すべての呼吸器疾患に対応します

「京大病院は肺移植で有名だが、どのような患者を紹介すればよいか迷う」という先生方もいらっしゃるかもしれません。私たちは、肺癌をはじめ、良性肺腫瘍、縦隔腫瘍、気胸、膿胸、胸部外傷まで、あらゆる呼吸器疾患に迅速かつ適切に対応いたします。海外も含めた広い地域、様々な施設で研鑽を積んだ医師がいることが強みです。特に、検診や人間ドック等で「肺癌の可能性が否定できない肺結節」を指摘された症例など、初期段階でもぜひお気軽にご紹介ください。



② 治療方針は患者さんと十分に相談し決定します



当科では、進行肺癌に対する薬物療法や放射線治療もあわせ、豊富な外科診療実績があるほか、早期の小型肺癌に対する低侵襲手術（様々なマーキング技術やロボット手術など、創や切除する範囲などを最小限に抑えた手術）にも積極的に取り組んでいます。治療方針はチーム内だけでなく、患者さん・ご家族とよく相談し、十分にご納得いただいたうえで決定いたします。

今後とも、先生方からの大切な患者さんのご紹介、ならびに緊密な地域連携を何卒よろしくお願い申し上げます。

当科のホームページ：<https://thoracic.kuhp.kyoto-u.ac.jp/>